

奥多摩むかし道

コース概要

奥多摩駅～奥多摩湖
距離：9.4km 所要時間：4 時間

(一社)奥多摩観光協会 東京都西多摩郡奥多摩町氷川 210 0428-83-2152

作成：平成 30 年 2 月 1 日

虫歯地蔵

歯医者がいなかった昔は、歯痛には煎った大豆を供えて、平癒を祈ったというお地蔵様。

道祖神

道路や旅人の守護神。石で象徴し、村境や峠・辻に座して、外から来る悪鬼邪心を防ぐ神として信仰されてきた。

玉堂歌碑

川合玉堂(明治6年愛知県生まれ)は、日本画家で帝国美術院会員。山村や自然を情緒豊かに描き、短歌もよくし、歌集も残している。昭和32年84歳で没。

青目立不動尊

青目立不動尊は修験法印(山岳修行の最高位の験者)の奥平家で、不動明王を祀り、悪魔退散、衆生済苦と村人を守護し、光明を与えてきました。

いろは楓

カエデ科のイロハカエデで、樹齢 200 年の巨樹が三本。11 月下旬頃が見頃。

惣岳(そうがく)の不動尊

明治時代、水根の法印奥平家と惣岳の奥平家によって成田不動尊が勧請され、昭和10年に現本殿・覆舎を再建。

巖道(がんだう)の馬頭様

人ひとりが通れるほどの狭い旧道では、多くの馬が谷へ落ちたという。そのたびに供養塔が増えていった。

縁結び地蔵尊

将来のよき伴侶との結縁成就を祈願したというお地蔵様。二股の大根を供えて祈れば恋愛成就すると云われています。

馬の水のみ場

ここで馬を休ませ、馬方衆はたてば茶屋でいっづく。一杯酒もあったとか。大島屋、しみず、ごーろの三軒があった。

牛頭(ごず)観音

旧道の難所にある観音様で、牛馬の通行の無事息災を祈った観音様。

へ裏面へ続くへ

